



公益
社団法人 京都府放射線技師会

京放技ニュース

6/2016
(通算 673 号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX 075-802-0082 E-mail:kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp
ホームページアドレス http://www/kyohogi.jp/

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ)キョウトフホウシャセンギシカイ

就任あいさつ

京都府放射線技師会会長に就任して

5月7日、第5回通常総会において、平成28.29年度の京都府放射線技師会・会長に就任いたしました、河本勲則(京都第二赤十字病院)でございます。まだまだ未熟者で知識もない私ですが、経験豊かで行動力のある執行部理事にご協力いただき、組織力のある役割分担で活発な会の運用に心掛けて参りたいと思っております。轟前会長が会のテーマとして掲げられました「信頼・感謝そして未来へ」を継承し、さらにサブテーマ「安全・安心で良質の医療提供」を加え、京都府、市民の健康増進と病気の早期発見を目的とした公開講座の開催や中学、高校生への医用放射線の安全性と必要性の啓蒙に取り組みたいと考えています。



まずは、診療放射線技師法の一部改正に伴う、統一講習会を京都で積極的に開催いたします。京都府下の診療放射線技師の70%以上がこの講習会を終了していただき、5年後には、必ず技師法改正が施行されるよう準備を整えたいと思っております。今の時代に即した業務体系で、我々も医療従事者として患者さんに直接何かをすることで、それが診療報酬に付加される、さらには、放射線技師の定数制へと反映できる礎となるよう活動したいと思っております。そのためには、他団体にもご協力をいただき、情報共有して行動を共にすることや監督官庁へも直接出向いて、関係保持に努めて参りたいと考えております。私を育てていただいた、田城、轟前会長、会員諸兄、他府県技師会諸先輩の教えと私の技師会への情熱をもって、執行部のチームワークも発揮して、全力で活性化をはかり事業推進を行って参ります。

診療放射線技師の未来は、決して明るいものではありません。自分たちで力を合わせ職能団体としての本来の形を築く時は、今であると思っております。

会員の皆様のさらなるご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

副会長に就任して

平成28・29年度副会長を務めさせていただきます久保田 裕一(関西医科大学附属病院)です。私は平成10年度に当時の府外地区(現、西南部地区)理事に選任されたのが理事会との最初の関わりでした。その後は常務理事を務めさせていただき、気が付けば理事会との関わりは17年目となります。その間、多くの方にご協力をいただきましたことに感謝いたします。

理事として諸先輩方のご指導を受けてなんとかここまでやってこられた私に副会長の職が務まるかは不安であり、重責に身が引き締まる思いであります。諸先輩方の教えを糧に精一杯努めたいと決意しております。

轟前会長から河本会長にバトンが引き継がれ、原口副会長と私を含めた三役全てが新しい顔ぶれとなります。未熟を言い訳に出来ないプレッシャーを感じながらも河本会長を柱として真摯に取り組んでいきたいと思っております。補佐役として、また各理事との調整役として与えられた職務に全力で取り組みたいと思っております。未熟故に会員の皆様にはご迷惑をおかけすることがありますが、お力添えをいただきながら国民から認められる診療放射線技師の未来へ、信頼される技師会の発展へと共に歩みましょう。

診療放射線技師法の一部改正が行われた変革の今、会員の目線でしっかりと見極めて事業に取り組む所存でありますので、今後とも京都府放射線技師会にご理解ご協力をよろしく申し上げます。

全地区委員会、第 561 回研修会、フレッシュ診療放射線技師の集い のご案内

公益社団法人 京都府放射線技師会

例年開催しています全地区委員会及び研修会・フレッシュ診療放射線技師の集いを下記の通り行います。ご多忙中とは存じますが是非参加くださいますようお願い申し上げます。
出欠にかかわらず 6 月 20 日(月) までに地区理事への連絡をお願いします。

日時：平成 28 年 7 月 3 日(日)

場所：ホテルセントノーム京都 京都市南区東九条東山王町 19-1 Tel 075-682-8777

14:00 ～ 受付開始

14:15 ～ 全地区委員会

* 出欠の可否については 6 月 20 日(月) までに担当地区理事までご連絡をお願いします。

15:00 ～ 受付開始

15:30 ～ 第 561 回研修会

会費：会員無料（非会員 500 円、フレッシュ診療放射線技師の集い参加者と学生は無料）

「読影補助のための e ラーニングシステムの紹介」(仮)

メディカル指南車

「短時間でわかる！MRI 読影サポートとしての ～チョットいい話～」

大阪赤十字病院 高津 安男

* 出欠の連絡は必要ありません。

18:00 ～ フレッシュ診療放射線技師の集い

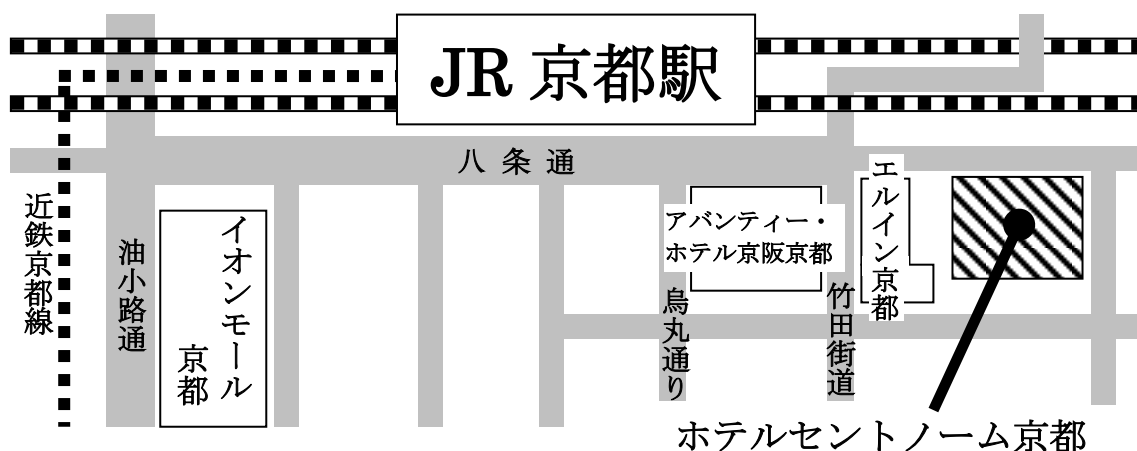
会費：新入職者でフレッシュャーズセミナー参加者（次ページ参照）は無料

入職 2～3 年目は 3,000 円、入職 4～5 年目は 5,000 円

一般会員 6,000 円

* 6 月 20 日(月) までに 出欠の連絡を地区理事又は技師会事務所(075-802-0082)までご連絡ください。

* 案内が届いていない新規採用の方が身近におられましたらお知らせください。



日本診療放射線技師会、京都府放射線技師会共催

診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー開催のお知らせ

京都府放射線技師会では、日本診療放射線技師会と共催で新人診療放射線技師を対象とした入会促進事業『診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー』を開催いたします。

このセミナーでは、社会人として身につけるべきマナー、接遇、医療安全や感染に関する対策、胸部撮影で非常に重要となる胸部撮影における解剖の講義など、経験年数の浅い診療放射線技師の方にも適した講座をおこないます。今年卒業された新採用の皆さまのみならず、卒後数年の診療放射線技師も含めたセミナーです。この機会に是非、職場の未入会の方々にもご参加を後押しして頂ければ幸いです。

前ページで案内している全地区委員会・第 561 回研修会と別室で並行開催します。

【受講対象】 新卒ならびに既卒未入会者を主に対象としていますが、卒後数年の診療放射線技師からベテランまでどなたでも参加していただけます。

【参加費】 無料（技師会会員・非会員共に）

【開催場所】 ホテルセントノーム京都

【開催日時】 平成 28 年 7 月 3 日(日) 13:30 ~ 17:30

【セミナープログラム予定】

13:00 ~	受付
13:30 ~ 13:40	開会挨拶
13:40 ~ 14:30	感染対策講座
14:30 ~ 15:20	医療安全講座
15:30 ~ 16:30	胸部撮影基礎講座
16:30 ~ 17:00	エチケットマナー講座
17:00 ~ 17:20	入会案内
17:20 ~ 17:30	閉会挨拶

【申し込み方法】

申し込みは「フレッシューズセミナー受講希望」と記載の上、氏名、所属、連絡先電話番号、卒業年度、技師会会員は会員番号を明記のうえ、下記へメール又は Fax にてお願いします。

(公社) 京都府放射線技師会メールアドレス: kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp

Tel & Fax : 075 - 802 - 0082

【定員】 先着 50 名（人数に達した場合には締切させていただきます）

【申込締め切り】 平成 28 年 6 月 23 日(木) 必着

問合せ: (公社) 京都府放射線技師会事務所 TEL075 - 802 - 0082

京都府放射線技師会学術担当 後藤 正 (済生会京都府病院 075 - 955 - 0111 内線 2150)

第 51 回京都病院学会開催のお知らせ

広報・渉外委員会 新井 喬

京都病院学会（京都私立病院協会・京都府病院協会主催）が 6 月 12 日(日) に開催されます。

なお、前回から協会会員施設の従事者は参加費が無料です。

詳しいことは事務局 075 - 354 - 8838 までお問い合わせ下さい。

日時: 平成 28 年 6 月 12 日(日) 9:00 ~ 17:00

会場: 池坊短期大学 美心館 2 階 (放射線部門 24 演題 第 3 会場 13:48 ~ 16:36)

参加費: 医療従事者は無料、学生・市民は 1,000 円

アクセス: 地下鉄「四条駅」・阪急「烏丸駅」下車、25 番出口より西へ徒歩 2 分

市バス「四条烏丸」停留所より徒歩 2 分

(構内には参加者用の駐車場はありませんので公共交通機関をご利用の上ご来場ください。

また、池坊短期大学東隣にありました産業会館駐車場は、現在閉鎖中です。)

公益社団法人京都府放射線技師会第 5 回通常総会報告

公益社団法人京都府放射線技師会会長 轟 英彦

5 月 7 日にエーザイ京都支店にて第 5 回公益社団法人京都府放射線技師会通常総会が開催されましたので、ここに報告いたします。

皿谷庶務理事の司会により始まった。最初に、平成 27 年 8 月 22 日に亡くなられた矢野 善四郎名誉会員と先月の熊本地震により亡くなられた被害者への黙とうがささげられた。その後、河本副会長より開会宣言がなされ、続いて轟会長よりあいさつが行われた。



議事 1. 議長選任の件

皿谷司会より議長立候補を求められると、会場より西地区の多富仁文会員が立候補し、会場全員から拍手により承認された。多富議長のあいさつの後、会員の出席状況を確認したところ、出席 44 名、委任状提出者 230 名で、総会員数 467 名の 58%になり、過半数を超えているため総会の成立が承認された。

議事 2. 平成 27 年度事業及び予算に関する件

「平成 27 年度事業経過報告」が轟会長と各委員会委員長より、「会計決算報告」が渡里財務理事より、「監査報告」が田城・武部監事より報告された。報告内容は当紙に同封しております平成 27 年度京都府放射線技師会雑誌（年報）を御参照ください。

議事 2 に対して、「平成 27 年度事業経過報告」は賛成 43 票、反対 0 票、保留 0 票で承認、「平成 27 年度会計決算報告」は賛成 43 票、反対 0 票、保留 0 票で承認された。

議事 3-①. 平成 28・29 年度役員選挙の件

選挙管理委員会榎本博委員長より「平成 28・29 年度会長・副会長選挙」結果として、会長に河本 勲則（京都第二赤十字病院）、副会長に久保田 裕一（関西医科大学附属病院）が当選したことを報告した。

また、「平成 28・29 年度地区理事候補者選挙」結果として、北地区に丹後 賢二（京都府立医科大学附属病院）、中地区に楡 隆之（京都民医連中央病院）、西地区に平井 靖（三菱京都病院）、東地区に中川 政幸（京都大学医学部附属病院）、南地区に若畑 旬弥（京都医療センター）、両丹地区に小川 武（舞鶴共済病院）、西南部地区に松本 洋一（大阪医科大学附属病院）がそれぞれ当選したことを報告した。

さらに、会長指名役員として副会長に原口 隆志（武田病院）、理事候補者に皿谷 弘樹（京都逋信病院）、渡里 弘（京都九条病院）、後藤 正（済生会京都府病院）、中島 智也（田辺中央病院）、新井 喬（宇治徳洲会病院）、蒲 順之（大島病院）、橋岡 康志（市立福知山市民病院）、中川 稔章（京都府立医科大学附属病院）、大西 孝志（京都医療センター）、山根 稔教（公立南丹病院）が報告され、会場全員から拍手により承認された。

議事 3-②. 監事選任の件

選挙管理委員会榎本 博委員長より「平成 28・29 年度監事選任」について説明がされ、会場出席者全員による選挙が行われた。その結果、轟 英彦（京都府立医科大学附属病院）と武部 義行（京都府立医科大学附属病院）の当選が発表された。

議事 4. その他

続いて轟会長より「公益社団法人選挙管理委員会規程」及び「会費の用途割合に関する規程」を京都府放射線技師会理事会承認で決めたことが報告された。小林 徹会員より「このような規程の採決は理事会承認ではなくて、総会に諮らなければならないのではないか」と指摘されたが、轟会長より「京都府庁にも確認して指導を受けているので問題ない」と回答された。また、久保 昌博会員より「京放技ニュースに副会長（副代表理事）との記載があったが、この呼び名を使用するとは定款・規定のどこにも記述がないので、京放技ニュース発刊前にチェックをしていただきたい」と指摘がされ、轟会長より謝罪があった。

議事 5. 議事録署名人に関する件

議事録署名人選任に関して会場より議長一任と要請があり、多富議長が大島病院の蒲 順之君と京都医療センターの若畑 旬弥君の両氏を指名し、会場の満場一致により承認された。その後、多富議長の解任がなされた。

第 560 回研修会報告

学術委員会 原口 隆志

5 月 7 日にエーザイ京都支店にて第 560 回研修会を開催しました。今回は株式会社 JVC ケンウッド ヘルスケア事業統括部 営業部の細井 修氏に医療用カラーモニタについて、平成 28 年度診療報酬改定について JIRA 所属の根本杏林堂株式会社 鍵谷 昭典氏にご講演いただきました。

5M カラー液晶ディスプレイ CCL550i2 の紹介

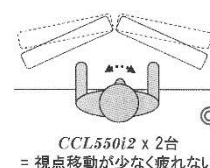
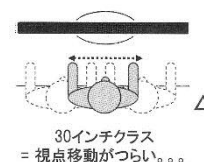
JVC ケンウッド ヘルスケア事業統括部・営業部 細井 修

超音波画像とマンモ画像を併用することで、乳がんの発見率が約 1.5 倍になるという研究が、昨年に東北大学から発表されました。当社の 5M カラーモニタでは、マンモ画像と一緒に、超音波のエラストグラフィ、MRI の CAD といったカラー画像を表示できるという点が特徴になります。

この 5M カラーモニタ CCL550i2 の特徴としていくつかご説明いたします。

1、人間工学に基づいた読影環境の構築が可能

最近では 30 インチの 1 面モニタで読影を行うことがありますが、これでは画面の中央と隅では見え方に違いが出てきますので、視点を画面に対して並行移動させなければいけません。そこで 21 インチの CCL550i2 を 2 面、読影医の方へ正面に向けるように設置すると、視点移動を行わなくて済みます。



2、5M モノクロとの共通性

5M モノクロと同じ 165 μ m ピッチサイズで、同等価格帯を実現していますので、コストパフォーマンスが高いです。

3、5M モノクロを凌駕する画質向上

5M モノクロモニタより水平と垂直方向で MTF 特性が良好です。マンモ読影では黒色の表現が重要視されますが、モノクロモニタより黒の特性が良好になっています。



4、カラーパネルによる異なるモダリティの混在表示

カラーですので、エコー、MR、病理のカラー画像も 1 面モニタで表示可能です。

5、最適な階調を表示するダイナミックガンマ調整機能

ダイナミックガンマ調整機能でモノクロ画像とカラー画像を自動的に識別し、それぞれに最適な階調で表示が可能となります。マンモ画像は DICOM 規格で、病理等のカラー画像は Gamma2.2 の表示となりますが、この異なる規格の画像を同一モニタ上で表示させることができます。

6、オートテキストモード機能

読影用モニタは輝度が高く設定されていますが、レポートなどのテキスト（白）表示を本機が自動的に検知し、その表示面積に応じて画面の輝度を抑える機能を搭載していますので、目のストレスを軽減します。

7、カラーキャリブレーションによるメリット

従来のモノクロモニタでは不可能であったカラーキャリブレーションが可能です。クリアベースやブルーベースなどの好みに応じて色味変更が可能です。さらに、経時変化による色味の変化の補正も可能になります。

名古屋医療センターの遠藤登喜子先生に評価していただきましたところ、日本乳がん検診鮮度管理中央機構ではマンモグラフィ診断に適合するモニタとして認定していただきました。また、FDA（米国食品医薬品庁）でブレストトモシンセシス用としても認定を受けています。コントラストが高く、トモシンセシスとしては動画特性、つまり応答速度が評価されました。

以上の特性から、当社としては、様々なモダリティ画像を用いた診断が可能ですので、マンモ画像を含めた PACS 画像診断として、また、マンモグラフィ装置のモニタとして PACS メーカー、Viewer メーカー、機器メーカー様へご提案しているところです。

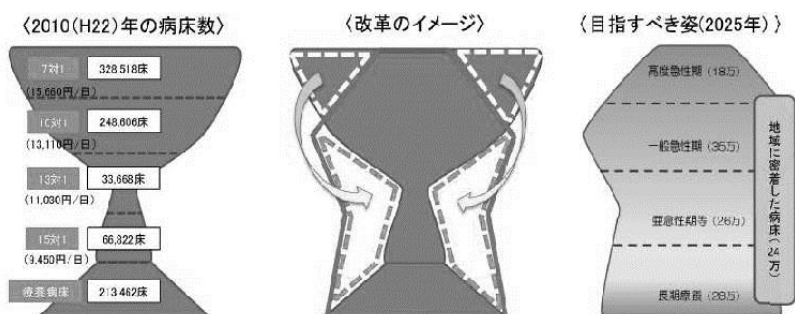
平成 28 年度診療報酬改定 ～放射線部門を中心として～

JIRA 経済部会 診療報酬委員会 鍵谷 昭典

現在の日本の国民医療費は約 40 兆円、介護費が 10 兆円で、合計 50 兆円規模の市場です。

全国の病院は約 8500 施設です。一般診療所が約 10 万施設、歯科診療所が約 69000 施設、薬局が約 57000 軒、コンビニが約 51000 軒です。コンビニより薬局や歯医者が多く、診療所に至っては倍の数の診療所がある状態です。

日本における総病床数は療養病床が 33 万床、一般病床が 89 万床、精神科病床等が 35 万床、一般診療所を含めると合計 167 万床あります。



これからの医療提供体制はワイングラス型からヤクルト型にすべきだといわれています。7対1の病床が多すぎるので、それを10対1や13対1へ持っていくべきだといわれています。団塊の世代が後

期高齢者になる 2025 年に介護施設等を増やし、総病床数自体は減らしていく方針です。2016 年度に診療報酬・薬価改定がありましたが、来年度には消費税改定がある予定ですので、それに合わせて診療報酬・薬価も改定されるかもしれません。2018 年度に介護報酬を含めた診療報酬との同時改定が行われる予定です。2018 年は第 7 次医療計画第 7 期介護保険事業計画が発足し、医療と介護の同時改革がなされる予定ですので、とても重要な時期です。

現在、厚生労働省は医療介護総合確保推進法の成立に基づき、基金を交付し施設完結型医療から地域完結型医療に持っていきこうとしています。これは重複する機能を分化し、各医療機関に分担させ、連携をする地域医療構想に基づいた施策です。現在、各都道府県ではこの地域医療構想を遅くとも平成 28 年度中には策定する予定です。例えばある地域にあった総合病院の病床数を減らして救命救急センターにし、入院機能を強化し、一般外来機能を縮小します。近所にある小さな病院は回復期リハ機能を担う病院にし、また、別の大きな病院を地域周産期母子医療センター・小児救急医療センターにする等の施策を検討しています。地域の中核となる病院は入院機能と専門外来機能に特化し、診療所や 200 床未満の病院に一般外来機能を担わせる方向です。また全体として在宅医療の充実も推進されます。また、これを推進するに当たって情報通信技術でカルテを共有することが重要となります。そうすることで必要に応じて病院を選び、その地域の中ですべての医療を提供できるようになります。京都府では平成 28 年中に策定する予定です。医療機関がこの計画に基づく勧告に従わない場合は名前の公表等が行われます。

この計画での各医療施設の報告項目に、高額医療機器設置状況があり、64 列以上の CT や 3T 以上の MRI、Angio 装置、SPECT、PET、強度変調放射線治療器 (IMRT)、遠隔操作式密封小線源治療装置 (RALS) を報告することになっています。この報告を基に、各都道府県が機器の適正配置等の方針を打ち出す可能性があります。

また、別の動きとして非営利ホールディングカンパニー型法人（今後は「地域医療連携推進法人」と改称予定）を制定し、それに各医療施設を参画させ、グループ内における人員・設備・情報を共有・交流・補完・連携させる計画で、これを平成 28 年 10 月に政省令交付、平成 29 年 4 月に施行する予定です。実際の先行事例として、岡山大学病院を中心に、いろいろな病院が連携して岡山大学メディカルセンターとして運用が開始されています。

7 対 1 病棟からの在宅復帰率（自宅または高齢者向け集合住宅）は当初 75%以上を目指していたが、現状では 78%を達成しており、平成 26 年度改定で 7 対 1 要件の厳格化を図ったが、一向に減らない状況であります。平成 28 年度改定ではこれを 80%以上としました。

平成 28 年度の診療報酬改定では効率性・有効性・適正配置といった政策誘導的な改定でした。ネット改定率は -0.84% 、診療報酬本体は $+0.49\%$ 、薬価・材料価格は -1.33% でした。薬価は過去 20 年以上ずっとマイナス改定、全体では実質 2 回連続マイナス改定です。

医療技術評価においては必要な技術として各学会・部会から 737 件の申請が上がったが、評価の優先度が高いとされた技術が 223 件認められた。診療放射線技師関連としては「先進画像加算・乳腺悪性腫瘍術前 MR」があります。

撮影における点数としては、64 列以上の CT、3T 以上の MRI といった高機能診断装置を施設共同利用での撮影を評価することとなり、施設共同利用率が 10%以上の基準を満たす保険医療機関においては、施設共同利用での撮像が CT で 1,020 点（それ以外では 1,000 点）、MR で 1,620 点（それ以外では 1,600 点）となった。つまり他院紹介患者の撮影では 20 点が追加されることになりました。

施設の共同利用の考えとして、紹介元から紹介先（検査・撮像実施施設）へ検査・撮影のみの依頼であった場合です。紹介患者が撮像施設へ入院した場合は、転医目的となり共同利用に含まれません。特別の関係にある医療機関（経営母体が同一等）からの紹介でも共同目的になりません。

PET 検査については特定機能病院、がん診療連携拠点病院、高度専門医療センターは共同利用率に関係なく、満額請求できます。

大腸 CT では、従来に行っていた大腸 CT 施設基準としての届け出は不要となりました。

乳房 MRI 撮影加算 100 点が新設されました。これは 1.5T 以上の装置で、画像診断管理加算 2 の施設基準をクリアし、かつ、乳がん学会認定施設の場合に適応されます。

画像診断に関して、従来は読影の件数について、当該施設内での常勤医の読影しか認められていませんでしたが、今回の改定では休日・夜間等に施設外においてオンラインで常勤医が読影しても認められることになりました。その読影システムに関しては、セキュリティを十分に行うことも注意書きされています。

脳卒中ケアユニット入院医療管理料の施設基準において、ある条件を満たせば脳外科医・神経内科医による遠隔読影が認められています。

放射線治療では、従来は技術料に含まれていた材料の点数が新設されました。新たに上市される材料（体内吸収型ハイドロスパーサーや位置測量ビーコン等）が該当します。固定用シェルは技術料の中で評価されているので、別途薬価加算にはなりません。

先進医療の中から、陽子線治療（小児がん）、重粒子線治療（骨軟部がん）が新たに 150,000 点の点数が付きました。さらに上記の当該疾病には 37,500 点が加算され、粒子線治療の適応判定をクリアすれば 40,000 点が加算、また、照射計画に基づく医学的管理加算として 10,000 点が加算されます。これら全てを合計すると 237,500 点となり、実際に自由診療としての費用である 300 万円の 80%の値となっています。粒子線治療の施設基準も多々修正追加されました。特に小児に対する放射線治療に対して、加算の引き上げが行われました。

アンギオでは、新たに頸動脈閉塞試験が 1,000 点と新設されました。

超音波では肝硬変に対するエラストグラフィが 200 点、新設されました。マンモエラストグラフィの点数化が有望視されていましたが、実現しませんでした。

今回の改定からイノベーション評価として、ソフトウェアを含む改良技術評価が C2（新技術・新機能）分野で可能となりました。これにより包括評価から医療技術評価としてのソフトウェア評価への道筋ができました。将来は診療放射線技師の技術料としての点数評価につなげていける可能性が出てきました。

診療情報提供料(I)として 250 点が算定できますが、オンラインで検査・画像情報を添付した場合に検査・画像情報提供加算として 200 点の加算が認められました。これには検査・画像情報を含むことが必須となります。さらに、オンラインで画像を送信した場合に、受け取った側も 30 点が新設されました。画像をオンラインで受け取るにはそれなりの設備投資が必要ですので、それに対する点数が認められたこととなります。これらの場合はガイドラインに基づいたセキュリティ対策された通信環境が必要です。地域で連携が取られている関係にある医療施設同士で、退院した患者をその後の通院で診る診療所等に紹介した場合に退院支援加算における地域連携計画加算として 300 点の加算新設等も行われました。



第 2 回理事会報告

平成 28 年 5 月 7 日

議長に渡里理事、書記に皿谷理事を選任し午後 5 時 00 分より議事に入った。

I. 経過報告及び計画に関する件**1) 経過報告および計画 河本会長**

(経過報告)

- 5月7日 第561回研修会、通常総会 (エーザイ京都)
- 通常総会後理事会開催 (エーザイ京都)
- 役員慰労会 (杉うら)

(計画)

- 5月14～15日 法改正に伴う統一講習会 (和歌山県河南コミュニティーセンター)
- 6月1日 両丹地区春季研修会
- 6月4日 平成28年度京放技第3回理事会(京放技会議室)
- 6月10日 代議員研修会 (APホール)
- 6月11日 日本診療放射線技師会総会 (日経ホール)
- 6月12日 第51回京都病院学会 (池坊短期大学)
- 6月25～26日 P-MET 新人教育講習会 (大阪)
- 7月3日 フレッシュアップセミナー
全地区委員会および第561回研修会
フレッシュ診療放射線技師の集い
(ホテルセントノーム京都)
- 7月17～18日 法改正に伴う統一講習会 (市立福知山市民病院)
- 8月12日 第562回研修会予定 (京都アスニー)
- 8月27・28日 夏季研修会(第563回研修会)

2) 各委員会報告及び計画**【庶務】皿谷理事**

- 会員数 4月30日現在 492名 (先月-27)
- (内訳) 名誉会員4名・正会員462名・賛助会員25名(社)
- 新入会1名、退会19名、除籍9名、
- ※平成28年度新入会累計1名

- 委員会報告
- 対外文書100件、発刊文書11件(4月1～30日)
- 新入会2名、転入会1名を承認

【財務】渡里理事

- 会費納入状況(平成28年4月末日現在)
- 平成27年度会費未納者118名(26.1%)
- 平成26年度会費未納者18名(4%)
- 平成28年度分納入117名、平成26年度分納入6名
- 京放技ニュース広告料2万円、賛助会費8社20万円、京放技雑誌広告費2万円入金

- 4月1・15・30日 委員会開催 (京放技事務所)

【学術】後藤理事

- 4月26日 第561回研修会・フレッシュアップ等打ち合わせ (ホテルセントノーム京都)
- 5月6日 統一講習会(和歌山県)に向けての準備・確認
- 5月7日 第560回研修会開催(エーザイ京都支店会議室)
- 5月14・15日 統一講習会予定 (和歌山県河南コミュニティーセンター)
- 5月19日 第561回研修会及びフレッシュアップセミナー、全地区委員会、フレッシュ診療放射線技師の集い合同開催準備委員会予定 (場所未定)
- 7月3日 第561回研修会及びフレッシュアップセミナー、全地区委員会、フレッシュ診療放射線技師の集い合同開催予定 (ホテルセントノーム京都)
- 7月17・18日 統一講習会予定 (市立福知山市民病院)
- 統一講習会予定 (滋賀県)
- 8月12日 第562回研修会予定 (京都アスニー)
- 8月27・28日 夏季研修会(第563回研修会)予定
- 10月9・10日 統一講習会予定 (京都第二赤十字病院)
- 11月23日 基礎講習会一般撮影 (京都府立医科大学)

平成 29 年

- 1月8・9日 統一講習会予定 (京都第二赤十字病院)
- 2月5日 第564回研修会(府民公開講座及び地区合同研修会) (場所未定)
- 2月19日 近畿地域学術大会(和歌山県)予定
- 平成28・29年度学術委員に、林浩二(洛和会音羽病院)、四丸真俊(国立病院機構宇多野病院)、丸山久喜(向日回生病院)、森永泉美(大阪医科大学附属病院)、前田富美恵(京都市立病院)、片山雅人(洛和会音羽病院)の6名を承認

【編集】中島理事

- 4月18日 第5回通常総会資料校了

- 4月23日 5月号ニュース校了 (田辺中央病院)

- 4月26日 平成27年度京都府放射線技師会雑誌校了
- 5月16日 6月号ニュース編集作業予定
- 今後の京放技ニュースに巻頭言と編集後記を掲載
- 編集委員に村上雅之(京都大学附属病院)を承認

【広報・渉外】新井理事

- 第51回京都病院学会放射線部門において、違う演題の演者が同姓同名であったため、問い合わせしたところ事務局から同姓同名との別人の報告あり
- 5月10日 京都病院学会実行委員会・会場見学会開催・出席予定 (京都私立病院協会会議室)
- 6月7日 京都病院学会実行委員会開催出席予定 (京都私立病院協会会議室)
- 6月11日 京都病院学会準備会・設営予定(池坊短期大学)
- 6月12日 「第51回京都病院学会」開催予定 (池坊短期大学)
- 7月5日 京都病院学会反省会開催出席予定 (京都私立病院協会会議室)
- 「第51回京都病院学会」座長・準備委員リスト JART ヘブライント申請依頼 (四丸委員へ)

【組織調査】蒲理事

- 4月26日 学校宛に新卒者紹介依頼発送 (京放技事務所)
- 会員宛に新入職者紹介依頼メール配信依頼
- 5月 発送作業予定
- 6月 組織調査委員会予定
- 7月3日 全地区委員会予定 (ホテルセントノーム京都)
- 組織調査委員に松元誠(松下記念病院)、山本佑造(京都第二赤十字病院)、山本紗知子(関西医科大学附属病院)、鷹野潤寛(京都第二赤十字病院)の4名を承認

【厚生】中川理事

- 4月26日 フレッシュ診療放射線技師の集い打合せ (ホテルセントノーム京都)
- 7月3日 フレッシュ診療放射線技師の集い開催予定 (ホテルセントノーム京都)
- 厚生委員に上原秀夫(京都大学医学部附属病院)、山添元士(京都第二赤十字病院)、塩貝光司(公立南丹病院)、小笠原陵(関西医科大学附属病院)、金津武弘(自宅)の5名を承認

【情報】大西理事

- 4月16日 通常総会資料をホームページ掲載
- 4月24日 通常総会資料差し替え
- 5月1日 総会資料「会費の使途割合に関する規定は平成28年4月9日の理事会で承認されました」をホームページ掲載
- 5月2日 5月号ニュース、求人情報2件をホームページ掲載
- 情報委員に肥後谷瞬(京都府立医科大学附属病院)、中田博之(三菱京都病院)の2名を承認

【管理士】山根理事

- 4月25日 管理士委員会開催 (亀岡シミズ病院)
- 6月 アンケート調査予定
- 9月 サーベイと線量計校正実習予定
- 管理士委員に安藤博敏、大澤啓次(済生会京都府病院)、小東靖史(三菱京都病院)、田中亮(清仁会亀岡シミズ病院)の4名を承認

【受賞者選考委員会】河本副会長

- 報告事項なし

II. 地区経過報告及び計画に関する件**1) 【北地区】丹後理事**

- 4月18日 選挙と総会の出席はがきの案内を連絡網配信
- 4月22日 第32回学術大会演題募集の案内を連絡網配信

2) 【中地区】楡理事

- 4月12日 今年度の近隣で行われる業務拡大に伴う統一講習会の予定一覧、及び、第560回研修会、京都病院学会、P-MET 新人教育講習会、フレッシュアップセミナー、基礎講習会 MRI、基礎講習会一般の予定の案内を配信
- 4月25日 第32回全国学術大会(岐阜)演題募集および参加登録のお願いについて、夏の参議院選挙の協力依頼について配信

3) 【東地区】中川理事

- ・ 4 月 30 日 全国大会の演題要請、選挙協力要請を配信
- 4) 【西地区】平井理事
 - ・ 4 月 11 日 西地区一斉メールにて「連絡第 5 回通常総会」への出席とはがき投函のお願い
 - ・ 4 月 11～22 日 数回に渡り電話とメールにて委員選出のお願いと西地区委員会開催調整
 - ・ 4 月 26 日 西地区一斉メールにて(再信)「連絡第 5 回通常総会」への出席とはがき投函のお願い
- ・ 西地区委員に大門博之(陸上自衛隊関西補給処桂支部総務部衛生課)、中安直規(京都桂病院)、丸山久喜(向日回生病院)、中西義正(済生会京都府病院)、中川雄介(公立南丹病院)、遠山景子(京都医療科学大学)の 6 名を承認
- 5) 【南地区】若畑理事
 - ・ 4 月 21 日 南地区委員会の開催日調整、総会委任状ハガキの返信依頼、第 560 回研修会案内をメール配信
 - ・ 5 月 6 日 新入職者紹介をお願いをメール配信
 - ・ 5 月 27 日 南地区委員会開催予定
- ・ 南地区委員に、南 1 奥村久司(独立行政法人国立病院機構 南京都病院)、南 2 福井健太(宇治武田病院)、南 3 山口恵亮(宇

- 治徳洲会病院)、南 4 三浦健一(第二岡本総合病院)、南 5 木村喜昭(京都山城総合医療センター)の 5 名を承認
 - 6) 【両丹地区】小川理事
 - ・ 4 月 22 日 両丹地区親睦会開催 (28 名参加)
 - ・ 6 月 1 日 両丹地区春季研修会予定
 - ・ 8 月 27・28 日 夏季研修会 (第 563 回研修会) 予定
 - ・ 両丹地区委員に、両丹 1 足立卓也(福知山市民病院)、両丹 2 兵藤康弘(舞鶴共済病院)、両丹 3 大門律雄(北部医療センター)の 3 名を承認
 - 7) 【西南部地区】松本理事 (庶務理事代読)
 - ・ 4 月 29 日 地区委員の依頼、第 5 回通常総会と第 560 回研修会の案内メールを送信
 - ・ 西南部地区委員に、西南部 1 福井崇晃(大阪医科大学附属病院)、西南部 2 梶本光則(関西医大附属病院)、西南部 3 岩木慎治(枚方公済病院)、西南部 4 高田春彦(松下記念病院)の 4 名を承認
- 次回理事会は平成 28 年 6 月 4 日(土) 京放技会議室にて開催予定
 以上、各議案について採択し承認された。(文責：皿谷)

編集後記

これまでの京放技ニュースは主に京放技のイベント告知とその報告を主に扱ってきました。日放技主催の統一講習会や AD セミナー、基礎講習は京都府開催のみ告知しており、それ以外は日放技の NetworkNow や日放技ホームページで調べていただくしかありません。また、これら講習の内容や意味は各会員が調べないとわからないという状態でした。これでは各会員が技師会の開催している講習会の内容や活動を知ることはなく、そうなる

と技師会自体の意味を理解できず、調べる意欲も出てこず、結局、お金の無駄で退会という結論に至ってしまいます。これでは悪循環そのものです。これからはイベントの告知だけでなく、内容の紹介も積極的に掲載していこうと思っています。

この編集後記を読んでいたいただいた会員の皆様は、これからの京放技ニュースは、全ページ一読していただくことをお願いいたします。

編集委員会 中島 智也

▶ 理事会で決定、報告された重要事項

- 京放技ニュースに毎号、巻頭言と編集後記を掲載する

▶ 6 月以降の京放技活動

- | | | |
|-------------|---|--------------------------|
| 6 月 12 日(日) | 第 51 回京都病院学会 | 池坊短期大学 |
| 7 月 3 日(日) | 第 561 回研修会、全地区委員会、フレッシュ診療放射線技師の集い
診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー | ホテルセントノーム京都
市立福知山市民病院 |
| 7 月 17～18 日 | 法改正に伴う統一講習会 | |

会 員 異 動

【退会】 19 名

【会員資格停止】 9 名

【新入会】

- 飯野 明寛 京都府立医科大学附属病院 (北 4)
- 熊給 淳 京都医療センター (南 2)

【転入会】

- 千尾 武彦 京都通信病院 (中 2)

【勤務先変更】

- 池田 雄士 向日回生病院 (西 4) ⇒ 舞鶴共済病院 (両丹 2)